

次期学習指導要領 1枚まとめ｜中学校

外国語（英語） 中学校

AI時代も人と伝え合う力を、段階を追って育てる英語へ

10秒でいうと 文法事項は使用頻度の高いものに絞る。「社会的な話題」は「身近な社会的な話題」に

中学校では、教科書の語彙や文法が難しくなりすぎたという指摘を受け、負担を適正にする方向です。国が「基盤語彙リスト」を作り、文法事項は使う頻度の高いものなどに絞る案です。「社会的な話題」は「身近な社会的な話題」に改める方向です。中1の初めは小学校とつなぐため、音声中心の活動を重視します。授業を生徒の理解に応じた英語で行うことは続けるとされています。

1 語彙と文法をしぼり、難しさを適正に

中学校では新しく学ぶ語彙も文法事項も増え、教科書が難しくなったと指摘されています。国が大量の英文データなどをもとに「基盤語彙リスト」を作り、教科書での使用を勧める方向です。文法事項も、よく使うものなどを本文で示し、指導の対象を絞る案です。P277 P283

授業では たとえば、よく使う文法は場面を変えて何度も使わせます。使う機会の少ない用法は深追いしないなど、強弱を付けた計画が考えられます。

2 「身近な社会的な話題」で意見を言う

今の「社会的な話題」は、外国語の学習としては難しい例が多いとされています。そこで「身近な社会的な話題」とし、生徒が自分と結び付けて考えられるものを中心に例を示す方向です。話題は、身近なものから少しずつ抽象的なものへ進める考え方です。

P283 資料編(3)P30(外㉚)

授業では たとえば、健康的な食生活やスクリーンタイムなど、自分の生活から意見を言える話題で短い意見文を書くことが考えられます。

3 中1の初めは音声中心で、小学校とつなぐ

中1の初めは、小学校の指導と関連させて音声中心の活動を重視します。小学校で扱った話題や表現を繰り返し扱い、3年間を通して発音と綴りを結び付けて丁寧に指導することが示されています。小学校では書き写しや例を見て書くまでにとどめている点もふまえます。P281 資料編(3)P19(外⑲)

授業では たとえば4月は、小学校で使った自己紹介の表現を声で十分にやり取りします。そのあと、語順を意識して書く活動へ進むことが考えられます。

4 授業は英語で。AIは吟味しながら使う

「授業を生徒の理解に応じた英語で行うこと」は続ける方針です。国が教室英語の表現集や動画を用意し、補助的な日本語の使い方も解説で示す方向です。AIは例文づくりなどに役立つ一方、出力をうのみにせず吟味し、人と人との伝え合いにつなげることが原則とされます。P282 P284

授業では たとえば、生成AIに自分の好きなことを使った例文を出させます（先生が作った例文を示す形でもかまいません）。自然な英語かを友達と確かめてから、実際に伝え合う流れが考えられます。生徒が使うときは、学校が認めたサービスを、年齢制限や保護者の同意を確かめたうえで先生の指導の下で使い、名前や写真などの個人情報は入力させません（文部科学省の生成AIガイドラインP19）。

ほかにも変わること（中学校）

- 英語の目標を3つの柱で P279 資料編(3)P39(外㊴) 資料編(3)P44(外㊹)
- 「内容」は第1～第3学年相当の目安つき 資料編(3)P8(外⑧) 資料編(3)P44(外㊹)
- 「身近な社会的な話題」に変更 P283 資料編(3)P30(外㉚) 資料編(3)P44(外㊹)
- 文法事項を絞る P277 P283
- 語彙の負担を適正に P277 P283 資料編(3)P29(外㉙)
- 中1の初期は音声中心で P281 資料編(3)P19(外⑲) 資料編(3)P21(外㉑)
- 授業は「生徒の理解に応じた英語」で P276 P284
- 単元づくりの例：My Favorite Food in ○○ 資料編(3)P12(外⑫) 資料編(3)P13(外⑬)

原田英語.com 次期学習指導要領ナビ｜
https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/download/｜
2026年11月4日 版

研修・会議・授業・保護者会での印刷・コピー・配布・投影はご自由にどうぞ。ご連絡は不要です。出典：審議まとめ（2026年10月5日）。告示前の方向性です。